

「SS100」検証結果報告書

----- PRIMEPOWER と PRIMERGY との接続及び動作確認 -----

日時 2004年6月24日～25日 場所：PRIMEPOWER CENTER

作成：株式会社インターソリューションマーケティング テクニカルサポート

目次

1. 目的	1
2. 日時	1
3. 検証機器環境	2
4. PRIMEPOWER CENTER 検証ネットワーク	2
5. 弊社検証ネットワーク	2
6. 「SS100」のケーブル布線、初期設定の注意事項	3
7. 検証項目について	5
7.1 PRIMEPOWER CENTER での検証項目	5
7.1.1 ケーブリング	5
7.1.2 セットアップ手順	5
7.1.3 リモート接続設定	5
7.2 弊社社内でのテスト項目	5
7.2.1 シリアルポートの設定	5
7.2.2 「SS100」機器のマネージメントの確認	5
7.2.3 「SS100」機器のファームのアップグレード	5
7.2.4 「SS100」機器の設定情報取得	5
7.2.5 「SS100」機器のポートリセット	5
8. 検証結果	6

1. 目的

サーバーやネットワーク機器へリモートからログインしシステム運用管理を行う際に、SENA社製「SS100」(通信ログポートバッファをもつ1ポートモデル)の接続及び動作確認を行います。サーバーは、PRIMEPOWER450,250,PRIMERGY TX200で、そのコンソールポートに接続しアクセス、サーバーへログイン出来るかの動作確認を行う。また、システム運用に必要な機能動作を確認します。

(備考)

1. 「SS100」は、通信ログポートバッファをもつ1ポートモデルのコミュニケーションサーバーです。コンソール(シリアル)からLAN/WANやインターネットへ、LAN/WANやインターネットからコンソール(シリアル)へと、システム運用管理にコンソールサーバーとして、機器制御にターミナルサーバーやデバイスサーバーとして機能をもつ製品です。

2. 通信ログポートバッファをもつ1ポートモデルは「SS100」に加え、SS110があります。SS110には、「SS100」と比べ)シリアルポートがRJ45、PCMCIAカードスロットを持っています。

2. 日時

2004年6月24日～25日

場所：富士通株式会社 PRIMEPOWER CENTER 11F Asia

時間 13:00～18:00

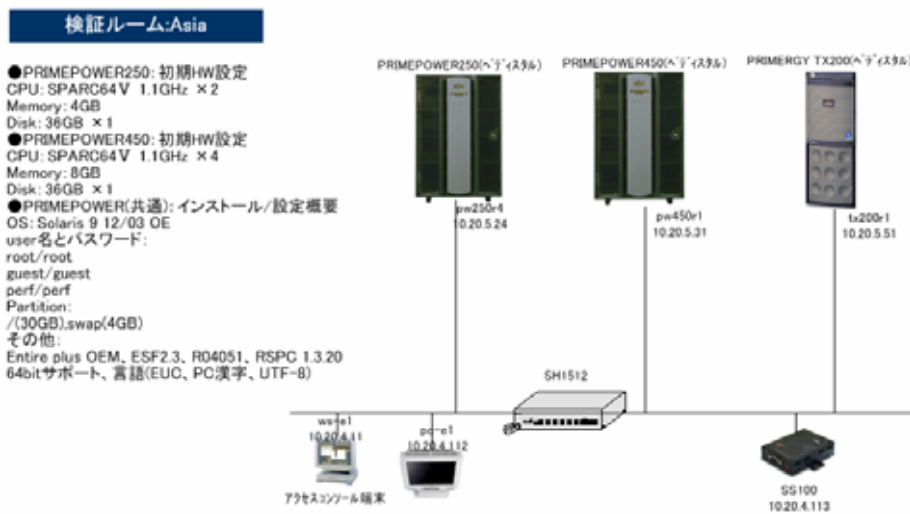
3. 検証機器環境

- PRIMEPOWER250 x 1 台
- PRIMEPOWER450 x 1 台
- PRIMERGY TX200 x 1 台
- 「SS100」 x 1 台

機器構成につきましては、次に記載の PRIMEPOWERCENTER 検証ネットワーク図をご覧ください。

4. PRIMEPOWER CENTER 検証ネットワーク

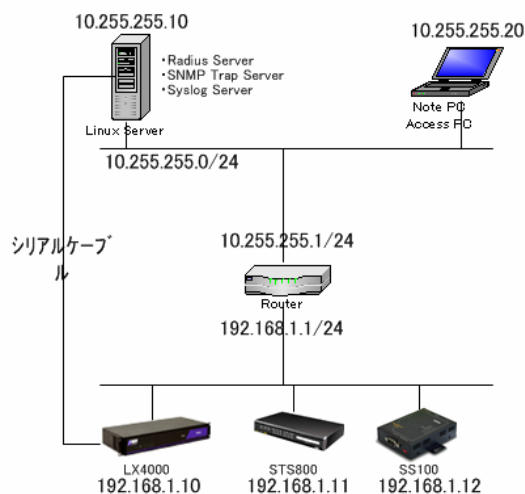
下記は PRIMEPOWER CENTER にて検証を行ったネットワーク図です。



5. 弊社検証ネットワーク

下記は弊社で検証を行った検証ネットワーク図です。

検証場所: インターソリューションマーケティング本社

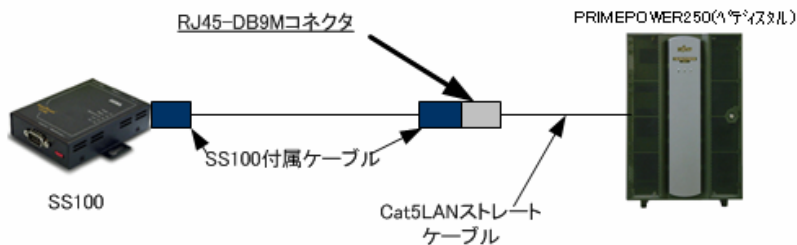


6. 「SS100」のケーブル布線、初期設定の注意事項

[PRIMEPOWER と 「SS100」]

- シリアル (コンソール) ポートの形状
 - ・ 富士通 PRIMEPOWER のコンソールポート RJ45
 - ・ 「SS100」のシリアルポート DB9 ピン オス
- 接続の形
 「SS100」+ 「SS100の標準添付コンソールケーブル」+ 「製品番号 #0401082」
 「LAN ケーブル」+ 「PRIMEPOWER」

次のような接続になります。



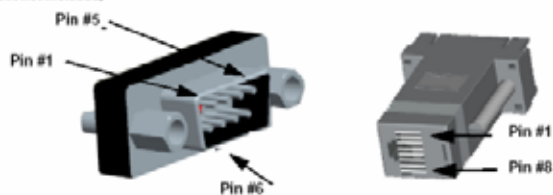
(備考)

1. 上記変換アダプターは、弊社 「製品番号 #0401082」 です。また、その他の変換アダプターについて弊社ウェブをご覧ください。“トップページ > サポート > シリアルケーブル ”
<http://www.intersolutionmarketing.com/support/serialcable.html>

2. 「SS100」のコンソールポート DB9 ピン オス、そのピン配置は、一般パソコンのコンソールポートと同じです。

DB-9 Male Modem Adapter

(Available but not included)



DB-9 Male Modem to RJ-45 Pin Assignment

RJ-45	Signal		DB-9M	Signal
1	CTS	Connected to	8	CTS
2	DSR	Connected to	6	DSR
3	RxD	Connected to	2	RxD
4	GND	Connected to	5	GND
5	DCD	Connected to	1	DCD
6	TxD	Connected to	3	TxD
7	DTR	Connected to	4	DTR
8	RTS	Connected to	7	RTS

[PRIMERGY と 「SS100」]

「SS100」のシリアルインターフェースは DB9-DTE (オス) なので PRIMERGY (DB9 オス)との接続には、「SS100」に標準添付されている「DB9 ピンメス to DB9 ピンメス クロス」を使用します。

- シリアル (コンソール) ポートの形状
 - ・ 富士通 PRIMERGY のコンソールポート DB9 ピン オス
 - ・ 「SS100」のシリアルポート DB9 ピン オス
- 接続の形
「SS100」+ 「SS100 の標準添付コンソールケーブル」+ 「PRIMERGY」

(備考)「SS100」に標準添付されている「DB9 ピンメス to DB9 ピンメス クロス」です。

[初期設定の注意事項]

アクセスは RAW TCP に設定して行います。

(備考) Raw Transmission Control Protocol (Raw TCP)

TCP の最上位で稼動するアプリケーションが 実行するカプセル化をサポートする方法。ログイン・ホストと発信機器の両方が Raw TCP を 認識できる必要がある。MAX は、接続が認証されるとすぐに Connection プロファイル内 または RADIUS ユーザ・プロファイルに指定されているホストに TCP 接続を確立する。Raw TCP は「TCP-Clear」とも呼ぶ。

弊社内で検証時にアクセスする時に使用したソフトウェア 「TeraTerm」です。
TeraTerm でのアクセス方法 RAW-TCP モードにするには、起動時の下記画面に上で、赤丸部分項目の「レ」をはずします。



「レ」をはずさないで Telnet でアクセスした場合には、文字化けする場合がありますので注意してください。

7. 検証項目について

7.1 PRIMEPOWER CENTER での検証項目

7.1.1 ケーブリング

- PRIMEPOWER250 と「SS100」 の場合
- PRIMEPOWER450 と「SS100」 の場合
- RIMERGY TX200 と「SS100」 の場合

(備考)実際のケーブリングについては、「前項6.「SS100」 ケーブル布線について」を参照ください。

7.1.2 セットアップ手順

- ・「SS100」機器 Login
- ・「SS100」本体のセットアップ
- ・「SS100」IP の設定 IP に関しては下記に設定を行う
「SS100」
IP Address :10.20.4.113
Subnet :255.255.0.0
Gateway :10.20.5.51

7.1.3 リモート接続設定

- ・「SS100」本体 IP アドレス指定による接続
- ・「SS100」本体 IP アドレス+TCP Port Access 番号指定による接続

7.2 弊社社内でのテスト項目

7.2.1 シリアルポートの設定

- ・ポート使用の有効/無効の設定
- ・ポートタイトルの設定
- ・ホストモードの設定
- ・シリアルポートパラメータの設定
- ・ポートロギングの設定
- ・IP フィルタリングの設定
- ・上記動作確認実施

7.2.2 「SS100」機器のマネージメントの確認

- ・SNMP アクセスの確認
- ・SNMP トラップの確認
- ・SYSLOG サーバ確認

7.2.3 「SS100」機器のファームのアップグレード

- ・「SS100」機器のファームウェアの取得
- ・「SS100」機器のファームウェアアップグレード

7.2.4 「SS100」機器の設定情報取得

- ・「SS100」機器設定情報のバックアップ

7.2.5 「SS100」機器のポートリセット

- ・「SS100」機器でポートリセット確認

(備考) 上記それぞれの設定の仕方につきましては、「SS100」 設定ガイド」がございます。

8. 検証結果

上記のネットワーク環境および機器、そのケーブルリング、機器の設定により、検証項目どおりに動作を行った結果、PRIMPOWER450, 250, PRIMERGY TX200 と「SS100」 は、問題無く動作することを確認しました。

以上